※令和３年度以前入学生用

学校番号	406

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校生の美術３　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。

・美術Ⅲでは自ら考え、自ら計画し制作することに重点を置いています。美術Ⅰおよび美術Ⅱで学んだ知識、技能を用いて幅広い表現をしていき、制作の過程の中で一人一人の持つ感じ方や見方、表現を深めていきましょう。

２　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a：美術への関心・意欲・態度	b：発想や構想の能力	c：創造的な技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や美術文化などを理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期	あなたの美術	【鑑賞】 ・オリエンテーション 教科書などを鑑賞し、１年間の授業でなにを大切にしてほしいか学び、「美術Ⅲ」の学習イメージを持つ。	○			○	a：美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習意欲を高めている。 d：美術作品などのよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。	学習活動の様子
	丸と四角の色彩構成	【デザイン】 水張り アイデアスケッチ ・制作 画面に丸と四角の図形を描き入れその中を分割し、丸を暖色、四角を寒色で塗る。 水張りしたパネルにアクリル絵の具で着彩。	○	○	○		a：色彩構成に関心を持ち、丸と四角の形、暖色と寒色の働きを考えながら主体的に取り組もうとしている。 b：色彩の基礎的な知識から、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c：アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。	制作の様子 アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品
	同じ物を５つ作る	【絵画・彫刻】【鑑賞】 アイデアスケッチ ・制作 紙粘土をつかって立体を制作する。大小さまざまな形の同じモチーフを５つ作り、連続する形の面白さ、構成について学ぶ。段ボールなどの下地を使って土台も制作する。 アクリル絵の具で着彩しニスで仕上げる。 合評会	○	○	○	○	a：モチーフの特徴を表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b：立体構成に対しての理解を深め、視点や動きなどを意識して表現の構想を練っている。 c：紙粘土の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d:他者の作品のよさや美しさ、表現の工夫などを感じ取り、作品についての理解を深めるとともに立体作品に対する見方や感じ方、考えなどを持ち、理解している。	制作の様子 アイデアスケッチ 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品

※令和３年度以前入学生用

二学期	卒業制作	【絵画・彫刻】【デザイン】 【映像メディア表現】【鑑賞】 ・制作プランの準備 20 時間で完成する自由制作の計画をたてる。 アイデアスケッチ エスキース 絵コンテ ・制作 各々が自分で決めたテーマに向けて作品を制作する。 自己の内面や、取り巻く状況などから主題を生成する。主題を基に構想を練る。構想を基に自分の表現意図に合う表現方法を工夫する。主題を追及し、表現を深める。 ・鑑賞会 他者の作品から作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する。	○	○	○	○	a：自己の内面を見つめて表現することに関心を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b：テーマを基に感性や想像力を働かせて、自己の内面を見つめて感じ取ったことや考えたことから主題を生成し、表現形式の特性を生かして、形体、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c：意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追及して表現している。 d:他者の作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	制作の様子 アイデアスケッチ エスキース 絵コンテ 制作途中の作品 鑑賞ワークシート 作品
三学期	美術ってなんだろう	【鑑賞】 絵画、彫刻、漫画、アニメーション、デザイナーなど様々な分野のアーティストを紹介する。その中で自分の興味のある分野や好きな絵に対しての考えを深める。 ・レポート制作 文章、図を使って 10 ページ以上のレポートを制作する。 作品や作者について調べ、表現の特徴や工夫、作者の心情や背景についてまとめる。 プレゼンテーション	○			○	a：美術に対するさまざまな考え方、表現に関心を持ち、自己の内面を見つめ、鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 d：作品の主題や作者の表現意図、心情などを読み取り、美術の表現や考え方について理解を深めている。	学習活動の様子 鑑賞活動の様子や発言内容 鑑賞ワークシート

※　表中の観点について

a：美術への関心・意欲・態度　b：発想や構想の能力　c：創造的な技能　d：鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。